股票代碼：5498

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告

民國104及103年第3季

地址：桃園市桃園區興邦路32號

電話：(03)366-0667

§目　　錄§

項目	頁次	財務報告附註編號
一、封　面	1	-
二、目　錄	2	-
三、會計師核閱報告	3	-
四、合併資產負債表	4	-
五、合併綜合損益表	5	-
六、合併權益變動表	6	-
七、合併現金流量表	7～8	-
八、合併財務報告附註		
(一)公司沿革	9	一
(二)通過財務報告之日期及程序	9	二
(三)新發布及修訂準則及解釋之適用	9～14	三
(四)重大會計政策之彙總說明	14	四
(五)重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	15	五
(六)重要會計項目之說明	15～31	六～二四
(七)關係人交易	37	二七
(八)質押之資產	38	二八
(九)重大或有負債及未認列之合約承諾	-	-
(十)重大之災害損失	-	-
(十一)重大之期後事項	-	-
(十二)其　他	31～37、38～39	二五～二六、二九～三十
(十三)附註揭露事項		
1.重大交易事項相關資訊	39	三一
2.轉投資事業相關資訊	39	三一
3.大陸投資資訊	39	三一
(十四)部門資訊	40	三二

Deloitte
勤業眾信

勤業眾信聯合會計師事務所
10596 台北市民生東路三段156號12樓

Deloitte & Touche
12th Floor, Hung Tai Financial Plaza
156 Min Sheng East Road, Sec. 3
Taipei 10596, Taiwan, R.O.C.

Tel : +886 (2) 2545-9988
Fax: +886 (2) 4051-6888
www.deloitte.com.tw

會計師核閱報告

凱崴電子股份有限公司　公鑒：

凱崴電子股份有限公司及子公司民國 104 年及 103 年 9 月 30 日之合併資產負債表，暨民國 104 年及 103 年 7 月 1 日至 9 月 30 日，以及民國 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併綜合損益表、民國 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併權益變動表與合併現金流量表業經本會計師核閱竣事。上開合併財務報表之編製係管理階層之責任，本會計師之責任則為根據核閱結果出具報告。

本會計師係依照審計準則公報第三十六號「財務報表之核閱」規劃並執行核閱工作。由於本會計師僅實施分析、比較與查詢，並未依照一般公認審計準則查核，因是無法對上開合併財務報表之整體表示查核意見。

依本會計師核閱結果，並未發現第一段所述合併財務報表在所有重大方面有違反證券發行人財務報告編製準則、經金融監督管理委員會認可之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」而須作修正之情事。

勤業眾信聯合會計師事務所
會計師　鄭　旭　然　　會計師　黃　瑞　展

行政院金融監督管理委員會核准文號
金管證審字第 1010028123 號

財政部證券暨期貨管理委員會核准文號
台財證六字第 0920123784 號

中　華　民　國　104　年　11　月　10　日

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國 104 年 9 月 30 日暨民國 103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日

單位：新台幣仟元

代碼	資產	104年9月30日（經核閱）金額	%	103年12月31日（經查核）金額	%	103年9月30日（經核閱）金額	%
	流動資產						
1100	現金及銀行存款（附註六）	$ 141,472	5	$ 157,657	5	$ 101,752	3
1110	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動（附註七及二八）	9,216	-	54,365	2	57,769	2
1125	備供出售金融資產－流動（附註八）	183,829	6	126,566	4	137,818	5
1150	應收票據（附註九）	33,103	1	50,976	2	43,988	1
1170	應收帳款（附註九）	486,195	17	643,726	21	586,403	20
1200	其他應收款（附註九）	43,752	2	21,448	1	25,465	1
130X	存貨（附註十）	534,353	18	537,293	18	507,455	17
1421	預付款項	23,609	1	34,710	1	49,102	2
1412	預付租賃款（附註十六及二八）	1,528	-	1,530	-	1,462	-
1470	其他流動資產	913	-	293	-	37	-
11XX	流動資產總計	1,457,970	50	1,628,564	54	1,511,251	51
	非流動資產						
1543	以成本衡量之金融資產－非流動（附註十一）	69,797	3	86,066	3	133,409	5
1550	採用權益法之投資（附註十三）	5,458	-	6,727	-	6,874	-
1600	不動產、廠房及設備－淨額（附註十四及二八）	1,091,821	38	1,061,038	36	1,017,164	35
1760	投資性不動產－淨額（附註十五及二八）	-	-	-	-	16,805	1
1805	商譽	8,528	-	8,536	-	8,160	-
1840	遞延所得稅資產（附註四）	83,728	3	86,833	3	88,017	3
1920	存出保證金（附註二四）	1,953	-	1,954	-	1,463	-
1960	預付款項	43,869	2	2,531	-	36,274	1
1985	長期預付租賃款（附註十六及二八）	91,334	3	92,573	3	88,857	3
1990	其他非流動資產	38,758	1	26,827	1	29,000	1
15XX	非流動資產總計	1,435,246	50	1,373,085	46	1,426,023	49
1XXX	資產總計	$ 2,893,216	100	$ 3,001,649	100	$ 2,937,274	100
代碼	負債及權益						
	流動負債						
2100	短期借款（附註十七）	$ 408,711	14	$ 564,434	19	$ 512,917	18
2110	應付短期票券（附註十七）	24,993	1	24,977	1	24,940	1
2120	透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動（附註七）	946	-	1,573	-	557	-
2150	應付票據	17	-	253	-	565	-
2170	應付帳款	138,050	5	180,866	6	172,817	6
2219	其他應付款（附註十四）	138,632	5	50,787	2	52,925	2
2230	本期所得稅負債（附註四及二二）	59	-	836	-	937	-
2320	一年內到期之長期借款及應付公司債（附註十七及十八）	33,000	1	10,000	-	330,162	11
2399	其他流動負債（附註二四）	1,971	-	7,554	-	12,085	-
21XX	流動負債總計	746,379	26	841,280	28	1,107,905	38
	非流動負債						
2540	長期借款（附註十七）	243,000	8	277,667	9	4,167	-
2570	遞延所得稅負債（附註四）	49,007	2	51,550	2	39,731	1
25XX	非流動負債總計	292,007	10	329,217	11	43,898	1
2XXX	負債總計	1,038,386	36	1,170,497	39	1,151,803	39
	歸屬於本公司業主之權益						
3100	股本	1,618,959	56	1,618,959	54	1,618,959	55
3200	資本公積	20,565	1	20,565	1	20,565	1
3300	保留盈餘	89,864	3	89,299	3	77,399	3
3400	其他權益	125,442	4	102,329	3	68,548	2
31XX	本公司業主權益總計	1,854,830	64	1,831,152	61	1,785,471	61
36XX	非控制權益	-	-	-	-	-	-
3XXX	權益總計	1,854,830	64	1,831,152	61	1,785,471	61
	負債與權益總計	$ 2,893,216	100	$ 3,001,649	100	$ 2,937,274	100

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　　經理人：初從維　　會計主管：游章渭

凱崴電力股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國 104 年及 103 年 7 月 1 日至 9 月 30 日以及民國 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未按一般公認會計準則查核）

單位：新台幣仟元，惟
每股盈餘為元

代碼		104年7月1日至9月30日 金額	%	103年7月1日至9月30日 金額	%	104年1月1日至9月30日 金額	%	103年1月1日至9月30日 金額	%
4000	營業收入	$ 225,218	100	$ 327,325	100	$ 673,934	100	$ 985,289	100
5000	營業成本（附註十及二一）	203,779	90	294,823	90	598,220	89	893,823	91
5900	營業毛利	21,439	10	32,502	10	75,714	11	91,466	9
	營業費用（附註四、十九及二一）								
6100	推銷費用	10,080	5	13,564	4	33,746	5	37,523	4
6200	管理費用	9,606	4	8,528	3	28,637	4	25,804	2
6300	研究費用	2,337	1	2,107	1	6,817	1	6,661	1
6000	營業費用合計	22,023	10	24,199	8	69,200	10	69,988	7
6900	營業淨利（損）	(584)	-	8,303	2	6,514	1	21,478	2
	營業外收入及支出								
7010	其他收入（附註二一）	235	-	1,880	1	1,981	-	4,834	1
7020	其他利益及損失（附註二一）	457	-	3,669	1	8,541	1	6,564	1
7050	財務成本（附註二一）	(4,470)	(2)	(5,402)	(2)	(14,311)	(2)	(15,512)	(2)
7060	採用權益法認列之關聯企業損失之份額	(130)	-	(1,059)	-	(1,269)	-	(1,459)	-
7000	營業外收入及支出合計	(3,908)	(2)	(912)	-	(5,058)	(1)	(5,573)	-
7900	稅前淨利（損）	(4,492)	(2)	7,391	2	1,456	-	15,905	2
7950	所得稅費用（利益）（附註四及二二）	(61)	-	1,354	-	891	-	3,830	1
8200	本期淨利（損）	(4,431)	(2)	6,037	2	565	-	12,075	1
	其他綜合損益								
8360	後續可能重分類至損益之項目								
8361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額（附註二十）	32,735	15	24,742	7	(1,736)	-	15,256	1
8362	備供出售金融資產未實現評價損益（附註二十）	46,478	21	(52,249)	(16)	24,554	4	45,356	5
8399	與可能重分類之項目相關之所得稅（附註二十及二二）	(5,565)	(3)	(4,206)	(1)	295	-	(2,593)	-
8300	本期其他綜合損益（稅後淨額）	73,648	33	(31,713)	(10)	23,113	4	58,019	6
8500	本期綜合損益總額	$ 69,217	31	($ 25,676)	(8)	$ 23,678	4	$ 70,094	7
	淨利（損）歸屬於：								
8610	本公司業主	($ 4,431)	(2)	$ 6,037	2	$ 565	-	$ 12,075	1
8620	非控制權益	-	-	-	-	-	-	-	-
8600		($ 4,431)	(2)	$ 6,037	2	$ 565	-	$ 12,075	1
	綜合損益總額歸屬於：								
8710	本公司業主	$ 69,217	31	($ 25,676)	(8)	$ 23,678	4	$ 70,094	7
8720	非控制權益	-	-	-	-	-	-	-	-
8700		$ 69,217	31	($ 25,676)	(8)	$ 23,678	4	$ 70,094	7
	每股盈餘（虧損）（附註二三）								
9750	基　本	($ 0.03)		$ 0.04		$ -		$ 0.07	

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　　經理人：初從維　　會計主管：游章渭

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

代碼		歸屬於本公司業主之權益（附註二十）												
			資本公債			保留盈餘			其他權益項目					
				可轉換公司債										
		股本	發行股票溢價	之認股權	合計	特別盈餘公積	待彌補虧損	合計	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	備供出售金融資產未實現損益	合計	總計	非控制權益	權益總額
A1	103 年 1 月 1 日餘額	$1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 93,320)	$ 65,324	$ 18,530	($ 8,001)	$ 10,529	$1,715,377	$ -	$1,715,377
D1	103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日淨利	-	-	-	-	-	12,075	12,075	-	-	-	12,075	-	12,075
D3	103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	-	-	12,663	45,356	58,019	58,019	-	58,019
Z1	103 年 9 月 30 日餘額	$1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 81,245)	$ 77,399	$ 31,193	$ 37,355	$ 68,548	$1,785,471	$ -	$1,785,471
A1	104 年 1 月 1 日餘額	$1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 69,345)	$ 89,299	$ 82,922	$ 19,407	$ 102,329	$1,831,152	$ -	$1,831,152
D1	104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日淨利	-	-	-	-	-	565	565	-	-	-	565	-	565
D3	104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	-	-	(1,441)	24,554	23,113	23,113	-	23,113
Z1	104 年 9 月 30 日餘額	$1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 68,780)	$ 89,864	$ 81,481	$ 43,961	$ 125,442	$1,854,830	$ -	$1,854,830

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　　經理人：初從維　　會計主管：游章渭

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

代碼		104年1月1日至9月30日	103年1月1日至9月30日
	營業活動之現金流量		
A10000	稅前淨利	$ 1,456	$ 15,905
A20010	不影響現金流量之收益費損項目		
A20100	折舊費用	89,512	111,816
A20200	攤銷費用	6,517	10,685
A20900	財務成本	14,311	15,512
A21200	利息收入	(360)	(181)
A21300	股利收入	(1,490)	(3,395)
A20400	透過損益按公允價值衡量金融資產評價（利益）損失	(5,770)	2,118
A22300	採用權益法認列之關聯企業損失之份額	1,269	1,459
A22500	處分不動產、廠房及設備損失（利益）	682	(600)
A23100	處分投資利益	(2,060)	(8,351)
A23700	存貨跌價及呆滯損失	-	896
A24100	未實現外幣兌換損失（利益）	9,745	(1,390)
A30000	與營業活動相關之資產／負債變動數		
A31110	透過損益按公允價值衡量之金融資產	48,112	(31,814)
A31130	應收票據	17,840	17,674
A31150	應收帳款	153,076	(48,828)
A31180	其他應收款	(12,531)	(10,631)
A31200	存貨	2,953	(5,448)
A31230	預付款項	9,510	34,880
A31240	其他流動資產	(620)	(20)
A32130	應付票據	(236)	(312)
A32150	應付帳款	(46,810)	(6,927)
A32180	其他應付款項	(8,973)	(1,022)
A32230	其他流動負債	(5,583)	(30,992)
A33000	營運產生之現金	270,550	61,034

（接次頁）

（承前頁）

代　碼		104年1月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日
A33300	支付之利息	($ 14,856)	($ 9,480)
A33100	收取之利息	360	181
A33200	收取之股利	1,490	3,395
A33500	支付之所得稅	(852)	(994)
AAAA	營業活動之淨現金流入	256,692	54,136
	投資活動之現金流量		
B00300	取得備供出售金融資產	(45,073)	(37,052)
B00400	處分備供出售金融資產價款	14,673	-
B01200	取得以成本衡量之金融資產	(78,598)	(45,440)
B01300	處分以成本衡量之金融資產價款	96,798	-
B01800	取得採用權益法之投資	-	(8,333)
B02000	預付款項增加	(40,443)	(8,583)
B02700	購置不動產、廠房及設備	(17,764)	(30,733)
B02800	處分不動產、廠房及設備價款	-	2,419
B03800	存出保證金減少	-	1,498
B07100	其他非流動資產增加	(30,940)	(16,936)
B07300	預付租賃款增加	-	(32,015)
BBBB	投資活動之淨現金流出	(101,347)	(175,175)
	籌資活動之現金流量		
C00100	短期借款（減少）增加	(159,824)	50,163
C00600	應付短期票券增加（減少）	16	(35,021)
C01600	舉借長期借款	-	20,000
C01700	償還長期借款	(11,667)	(5,833)
CCCC	籌資活動之淨現金流（出）入	(171,475)	29,309
DDDD	匯率變動對現金及銀行存款之影響	(55)	4,401
EEEE	本期現金及銀行存款減少數	(16,185)	(87,329)
E00100	期初現金及銀行存款餘額	157,657	189,081
E00200	期末現金及銀行存款餘額	$ 141,472	$ 101,752

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　　經理人：初從維　　會計主管：游章渭

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併財務報告附註

民國 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

（除另予註明外，金額係以新台幣仟元為單位）

一、公司沿革

凱崴電子股份有限公司（以下簡稱本公司）於 86 年 2 月 27 日奉准設立登記，主要經營電鍍液、乾膜、鑽頭等印刷電路板原材料之設計、製造及加工業務，並自 101 年起拓展商品經銷之業務。本公司發行之普通股股票自 90 年 3 月 29 日起於財團法人中華民國證券櫃檯買賣中心掛牌交易。

本合併財務報告係以本公司之功能性貨幣新台幣表達。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告於 104 年 11 月 10 日經董事會通過。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一) 首次適用修正後之證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可之 2013 年版國際財務報導準則（IFRS）、國際會計準則（IAS）、解釋（IFRIC）及解釋公告（SIC）

依據金融監督管理委員會（以下稱「金管會」）發布之金管證審字第 1030029342 號及金管證審字第 1030010325 號函，合併公司自 104 年起開始適用業經國際會計準則理事會（IASB）發布且經金管會認可之 2013 年版 IFRS、IAS、IFRIC 及 SIC（以下稱「IFRSs」）及相關證券發行人財務報告編製準則修正規定。

除下列說明外，適用修正後之證券發行人財務報告編製準則及 2013 年版 IFRSs 不致造成合併公司會計政策之重大變動：

1. IFRS 13「公允價值衡量」

IFRS 13 提供公允價值衡量指引，該準則定義公允價值、建立衡量公允價值之架構，並規定公允價值衡量之揭露。此外，該準則規定之揭露內容較為廣泛，例如，適用 IFRS 13 前，準

則僅要求以公允價值衡量之金融工具須按公允價值三層級揭露，而依照 IFRS 13 規定，適用該準則之所有資產及負債皆須提供前述揭露。

IFRS 13 之衡量規定係自 104 年起推延適用。相關揭露請參閱附註二六。

2. IAS 1 之修正「其他綜合損益項目之表達」

依修正之準則規定，其他綜合損益項目須按性質分類且分組為(1)不重分類至損益之項目及(2)後續可能重分類至損益之項目。相關所得稅亦按相同基礎分組。適用該修正規定前，並無上述分組之強制規定。

合併公司於 104 年追溯適用上述修正規定，不重分類至損益之項目包含確定福利計畫再衡量數。後續可能重分類至損益之項目包含國外營運機構財務報表換算之兌換差額、備供出售金融資產未實現利益（損失）。惟適用上述修正並不影響本期淨利、本期稅後其他綜合損益及本期綜合損益總額。

(二) IASB 已發布但尚未經金管會認可之 IFRSs

合併公司未適用下列業經 IASB 發布但未經金管會認可之 IFRSs。截至本合併財務報告通過發布日止，金管會尚未發布生效日。

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日(註1)
「2010-2012 週期之年度改善」	2014 年 7 月 1 日（註 2）
「2011-2013 週期之年度改善」	2014 年 7 月 1 日
「2012-2014 週期之年度改善」	2016 年 1 月 1 日（註 3）
IFRS 9「金融工具」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 9 及 IFRS 7 之修正「強制生效日及過渡揭露」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 10 及 IAS 28 之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	2016 年 1 月 1 日（註 4）
IFRS 10、IFRS 12 及 IAS 28 之修正「投資個體：合併報表例外規定之適用」	2016 年 1 月 1 日
IFRS 11 之修正「聯合營運權益之取得」	2016 年 1 月 1 日
IFRS 14「管制遞延帳戶」	2016 年 1 月 1 日
IFRS 15「客戶合約之收入」	2018 年 1 月 1 日
IAS 1 之修正「揭露計畫」	2016 年 1 月 1 日

（接次頁）

（承前頁）

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB發布之生效日(註1)
IAS 16 及 IAS 38 之修正「可接受之折舊及攤銷方法之闡釋」	2016 年 1 月 1 日
IAS 16 及 IAS 41 之修正「農業：生產性植物」	2016 年 1 月 1 日
IAS 19 之修正「確定福利計畫：員工提撥金」	2014 年 7 月 1 日
IAS 36 之修正「非金融資產可回收金額之揭露」	2014 年 1 月 1 日
IAS 39 之修正「衍生工具之合約更替及避險會計之繼續」	2014 年 1 月 1 日
IFRIC 21「公課」	2014 年 1 月 1 日

註 1：除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度期間生效。

註 2：給與日於 2014 年 7 月 1 日以後之股份基礎給付交易開始適用 IFRS 2 之修正；收購日於 2014 年 7 月 1 日以後之企業合併開始適用 IFRS 3 之修正；IFRS 13 於修正時即生效。其餘修正係適用於 2014 年 7 月 1 日以後開始之年度期間。

註 3：除 IFRS 5 之修正推延適用於 2016 年 1 月 1 日以後開始之年度期間外，其餘修正係追溯適用於 2016 年 1 月 1 日以後開始之年度期間。

註 4：推延適用於 2016 年 1 月 1 日以後開始之年度期間所發生之交易。

除下列說明外，適用上述新發布／修正／修訂準則或解釋將不致造成合併公司會計政策之重大變動：

1. IFRS 9「金融工具」

<u>金融資產之認列及衡量</u>

就金融資產方面，所有原屬於 IAS 39「金融工具：認列與衡量」範圍內之金融資產後續衡量係以攤銷後成本衡量或以公允價值衡量。IFRS 9 對金融資產之分類規定如下。

合併公司投資之債務工具，若其合約現金流量完全為支付本金及流通在外本金金額之利息，分類及衡量如下：

(1) 以收取合約現金流量為目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以攤銷後成本衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損益認列於損益。

(2) 藉由收取合約現金流量與出售金融資產而達成目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以透過其他綜合損益按公允價值衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損益與兌換損益亦認列於損益，其他公允價值變動則認列於其他綜合損益。於該金融資產除列或重分類時，原先累積於其他綜合損益之公允價值變動應重分類至損益。

合併公司投資非屬前述條件之金融資產，係以公允價值衡量，公允價值變動認列於損益。惟合併公司得選擇於原始認列時，將非持有供交易之權益投資指定為透過其他綜合損益按公允價值衡量。此類金融資產除股利收益認列於損益外，其他相關利益及損失係認列於其他綜合損益，後續無須評估減損，累積於其他綜合損益之公允價值變動亦不重分類至損益。

<u>金融資產之減損</u>

IFRS 9 改採用「預期信用損失模式」認列金融資產之減損。以攤銷後成本衡量之金融資產、強制透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產、應收租賃款、IFRS 15「來自客戶合約之收入」產生之合約資產或放款承諾及財務保證合約，係認列備抵信用損失。若前述金融資產之信用風險自原始認列後並未顯著增加，則其備抵信用損失係按未來 12 個月之預期信用損失衡量。若前述金融資產之信用風險自原始認列後已顯著增加且非低信用風險，則其備抵信用損失係按剩餘存續期間之預期信用損失衡量。但未包括重大財務組成部分之應收帳款必須按存續期間之預期信用損失衡量備抵信用損失。

此外，原始認列時已有信用減損之金融資產，合併公司考量原始認列時之預期信用損失以計算信用調整後之有效利率，後續備抵信用損失則按後續預期信用損失累積變動數衡量。

2. IAS 36 之修正「非金融資產可回收金額之揭露」

IASB 於發布 IFRS 13「公允價值衡量」時，同時修正 IAS 36「資產減損」之揭露規定，導致合併公司須於每一報導期間增加揭露資產或現金產生單位之可回收金額。本次 IAS 36 之修正係釐清合併公司僅須於認列或迴轉減損損失當期揭露該等可回收金額。此外，若可回收金額係以現值法計算之公允價值減處分成本衡量，合併公司須增加揭露所採用之折現率。

3. IAS 16 之修正「可接受之折舊及攤銷方法之闡釋」

企業應採用適當之折舊及攤銷方法以反映其消耗該不動產、廠房及設備與無形資產未來經濟效益之預期型態。

IAS 16「不動產、廠房及設備」之修正規定，收入並非衡量不動產、廠房及設備折舊費用之適當基礎，且該修正並未提供得以收入為基礎提列折舊費用之例外規定。

上述修正於生效日以後開始之年度期間推延適用，並允許提前適用。

4. IFRS 15「客戶合約之收入」

IFRS 15 係規範來自客戶合約之收入認列原則，該準則將取代 IAS 18「收入」、IAS 11「建造合約」及相關解釋。

合併公司於適用 IFRS 15 時，係以下列步驟認列收入：

(1) 辨認客戶合約；

(2) 辨認合約中之履約義務；

(3) 決定交易價格；

(4) 將交易價格分攤至合約中之履約義務；及

(5) 於滿足履約義務時認列收入。

IFRS 15 生效時，合併公司得選擇追溯適用至比較期間或將首次適用之累積影響數認列於首次適用日。

5. IAS 1 之修正「揭露計畫」

該修正闡明，合併財務報告旨在揭露重大資訊，不同性質或功能之重要項目應予分別揭露，且不得與非重要項目彙總揭露，俾使合併財務報告提升可了解性。

此外，該修正闡明合併公司應考量合併財務報告之可了解性及可比性來決定一套有系統之方式編製附註。

除上述影響外，截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估其他準則、解釋之修正對財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

四、重大會計政策之彙總說明

(一) 遵循聲明

本合併財務報告係依照證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可之 IAS 34「期中財務報導」編製。本合併財務報告並未包含整份年度財務報告所規定之所有 IFRSs 揭露資訊。

(二) 合併基礎

子公司明細、持股比例及營業項目，參閱附註十二及附表四。

(三) 其他重大會計政策

除下列說明外，請參閱 103 年度合併財務報告之重大會計政策彙總說明。

1. 退職後福利

期中期間之退休金成本係採用前一年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算，並針對本期之重大市場波動，及重大計畫修正、清償或其他重大一次性事項加以調整。

2. 所得稅

所得稅費用係當期所得稅及遞延所得稅之總和。期中期間之所得稅係以年度為基礎進行評估，以預期年度總盈餘所適用之稅率，就期中稅前利益予以計算。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

本合併財務報告採用之重大會計判斷、估計及假設不確定性主要來源請參閱 103 年度合併財務報告。

六、現金及銀行存款

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
庫存現金	$ 2,071	$ 4,537	$ 2,600
活期及支票存款	139,401	153,120	99,152
	$ 141,472	$ 157,657	$ 101,752

七、透過損益按公允價值衡量之金融工具

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
金融資產－流動			
非衍生性金融資產			
國內上市櫃股票	$ 1,569	$ 54,365	$ 57,769
國外上市櫃股票	7,647	-	-
	$ 9,216	$ 54,365	$ 57,769
金融負債－流動			
衍生性工具			
遠期外匯合約	$ 946	$ 1,573	$ 557

合併公司 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日從事遠期外匯衍生性金融商品交易之目的，主要係為規避外幣資產因匯率波動所產生之風險。

於資產負債表日尚未到期之遠期外匯合約如下：

	幣別	到期期間	合約金額（仟元）
104 年 9 月底			
賣出遠期外匯	美元兌新台幣	104.10.6~105.2.4	USD 505
103 年 12 月底			
賣出遠期外匯	美元兌新台幣	104.1.7~104.5.7	USD 1,126
103 年 9 月底			
賣出遠期外匯	美元兌新台幣	103.10.8~104.1.16	USD 860

八、備供出售金融資產－流動

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
國內上櫃及興櫃股票	$ 183,829	$ 126,566	$ 137,818

備供出售金融資產公允價值之決定，請參閱附註二六。

九、應收票據、應收帳款及其他應收款－淨額

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
應收票據			
因營業而發生	$ 33,837	$ 51,710	$ 44,690
減：備抵呆帳	(734)	(734)	(702)
	$ 33,103	$ 50,976	$ 43,988
應收帳款			
因營業而發生	$ 652,497	$ 810,171	$ 746,643
減：備抵呆帳	(166,302)	(166,445)	(160,240)
	$ 486,195	$ 643,726	$ 586,403
其他應收款			
其　　他	$ 43,752	$ 21,448	$ 25,465

應收票據及帳款

合併公司對商品銷售之平均授信期間為 120～180 天。於決定應收帳款可回收性時，合併公司考量應收帳款自原始授信日至資產負債表日信用品質之任何改變。由於歷史經驗顯示逾期超過 360 天之應收帳款無法回收，合併公司對於帳齡超過 360 天之應收帳款認列 100%備抵呆帳，對於帳齡在 180 天至 360 天之間之應收帳款，其備抵呆帳係參考交易對方過去拖欠記錄及分析其目前財務狀況，以估計無法回收之金額。

於 104 年 9 月 30 日暨 103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日之應收帳款餘額中，顯著集中於重要客戶而存在之信用風險，請參閱附註二六。

於資產負債表日已逾期但合併公司尚未認列備抵呆帳之應收帳款，因其信用品質並未重大改變，合併公司管理階層認為仍可回收其金額，合併公司對該等應收帳款亦維持相關信用增強保障。

已逾期但未減損應收帳款之帳齡分析如下：

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
90 天以下	$ -	$ -	$ -
91 至 180 天	3,926	15,019	1,375
181 至 270 天	12,802	-	-
270 天以上	5,140	5,145	4,918
合　計	$ 21,868	$ 20,164	$ 6,293

以上係以立帳日為基準進行之帳齡分析，於 104 年 9 月 30 日暨 103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日之已逾期 270 天以上之應收帳款中分別約有 5,140 仟元、5,145 仟元及 4,918 仟元係屬代銷協議產生之款項，是項帳款已於 102 年 9 月取得進貨廠商同意於款項收回前始支付之協議。

應收帳款之備抵呆帳變動資訊如下：

	個別評估減損損失	群組評估減損損失	合　計
103 年 1 月 1 日餘額	$ 156,627	$ 2,789	$ 159,416
外幣換算差額	901	625	1,526
103 年 9 月 30 日餘額	$ 157,528	$ 3,414	$ 160,942
104 年 1 月 1 日餘額	$ 163,526	$ 3,653	$ 167,179
外幣換算差額	(430)	287	(143)
104 年 9 月 30 日餘額	$ 163,096	$ 3,940	$ 167,036

截至 104 年 9 月 30 日暨 103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，備抵呆帳金額其中包括處於重大財務困難之個別已減損應收帳款，其金額分別為 163,096 仟元、163,526 仟元及 157,528 仟元，主係於 97 年提列。所認列之減損損失為應收帳款帳面金額與預期清算回收金額現值之差額。合併公司對該等應收帳款餘額並未持有任何擔保品。

十、存貨－淨額

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
原　料	$ 11,212	$ 19,539	$ 21,437
物　料	29,037	32,256	33,270
在製品	190,249	190,283	183,304
製成品	303,855	289,437	265,571
在途商品	-	5,778	3,873
	$ 534,353	$ 537,293	$ 507,455

104年9月30日暨103年12月31日及9月30日之備抵存貨跌價損失分別為16,459仟元、16,472仟元及13,662仟元。

104年及103年7月1日至9月30日與104年及103年1月1日至9月30日與存貨相關之銷貨成本分別為203,779仟元、294,823仟元、598,220仟元及893,823仟元。

十一、以成本衡量之金融資產

	104年9月30日		103年12月31日		103年9月30日	
	金額	持股%	金額	持股%	金額	持股%
國內未上市（櫃）普通股						
漢宇創業投資股份有限公司	$ 15,923	4.44	$ 15,923	4.44	$ 15,923	4.44
國外未上市（櫃）普通股						
Concord Venture Capital Group Limited	22,800	13.57	22,800	13.57	22,800	13.57
Ultimate Access International Fund IX	31,074	-	-	-	-	-
Ultimate Access International Fund V	-	-	24,623	-	49,246	-
Ultimate Access International Fund VI	-	-	16,732	-	33,464	-
Ultimate Access International Fund VII	-	-	5,988	-	11,976	-
	$ 69,797		$ 86,066		$ 133,409	

合併公司所持有之上述未上市（櫃）股票投資，於資產負債表日係按成本減除減損損失衡量，因其公允價值合理估計數之區間重大且無法合理評估各種估計之機率，致合併公司管理階層認為其公允價值無法可靠衡量。

合併公司於104年3月底出售帳面金額94,867仟元之以成本衡量之金融資產，並認列處分利益1,931仟元。

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
依金融資產衡量種類區分			
備供出售金融資產	$ 69,797	$ 86,066	$ 133,409

十二、子公司

列入合併財務報告之子公司

本合併財務報告編製主體如下：

投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	所持股權百分比 104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
本公司	Key Ware International Limited	一般投資	100%	100%	100%
本公司	慧朋科技股份有限公司	電子零組件、機械設備	99.99%	99.99%	-
Key Ware International Limited	Advisor Move Investments Limited	一般投資	100%	100%	100%
Key Ware International Limited	Module System International Limited	一般投資	100%	100%	100%
Advisor Move Investments Limited	昆山滬崴電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	100%	100%	100%
Module System International Limited	昆山威興電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	100%	100%	100%
昆山滬崴電子有限公司	昆山鐳崴光電科技有限公司	鐳射鑽孔代工	100%	-	-

本公司為從事多角化經營及增加營業外收益，於 104 年 3 月 24 日及 103 年 12 月 23 日經董事會核准分別以人民幣 1,200 仟元及 1,000 仟元投資昆山鐳崴光電科技有限公司及慧朋科技股份有限公司。

慧朋科技股份有限公司係非重要子公司，其財務報告未經會計師核閱。

十三、採用權益法之投資

合併公司之關聯企業列示如下：

被投資公司	104年9月30日 金額	持股%	103年12月31日 金額	持股%	103年9月30日 金額	持股%
不具重大性之關聯企業						
榮沛科技股份有限公司	$ 5,458	22.73	$ 6,727	22.73	$ 6,874	22.73

合併公司為增加獲利而從事多角化經營，於 103 年 2 月 26 日經董事會核准以 26,000 仟元投資榮沛科技股份有限公司，截至 104 年 9 月 30 日止，合併公司共匯出 8,333 仟元（原始匯出 25,000 仟元，後因評估投資總金額需求減少，後續已收回 16,667 仟元），取得 833 仟股，持股比例為 22.73%。

採用權益法之投資及合併公司對其享有之損益及其他綜合損益份額，係按被投資公司同期間未經會計師核閱之財務報表計算。

十四、不動產、廠房及設備－淨額

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
每一類別之帳面金額			
自有土地	$ 113,167	$ 113,167	$ 110,858
房屋及建築	455,647	475,486	425,609
機器設備	506,841	460,687	468,659
出租設備	-	3,123	3,244
運輸設備	1,656	253	240
辦公設備	2,299	2,034	2,048
其他設備	12,211	6,288	6,506
	$ 1,091,821	$ 1,061,038	$ 1,017,164

除認列折舊費用及購買鐳射鑽頭事業部所需之機器設備計日幣342,000仟元（截至104年9月底銀行開立信用狀墊付日幣342,000仟元（帳列其他應付款））外，合併公司之不動產、廠房及設備於104年及103年1月1日至9月30日並未發生重大增添、處分及減損情形。

不動產、廠房及設備係以直線基礎按下列耐用年數計提折舊：

房屋及建築	20至50年
機器設備	3至13年
出租設備	8年
運輸設備	5年
辦公設備	3至8年
其他設備	3至10年

合併公司設定質押作為借款及應付公司債擔保之不動產、廠房及設備金額，請參閱附註二八。

十五、投資性不動產－淨額

	103年9月30日
帳面金額	
投資性不動產	$ 16,805

合併公司之投資性不動產係以直線基礎按20至50年之耐用年限計提折舊。

合併公司之投資性不動產於103年9月30日之公允價值為18,519仟元，該公允價值未經獨立評價人員評價，僅由合併公司管理階層以周邊同性質房市交易之行情推估而得。

合併公司之投資性不動產已於103年10月重分類至土地及房屋。

十六、預付租賃款

於合併資產負債表分別列為：

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
流　動	$ 1,528	$ 1,530	$ 1,462
非流動	91,334	92,573	88,857
	$ 92,862	$ 94,103	$ 90,319

係昆山滬崴及昆山威興分別取得之土地使用權，除認列攤銷費用及下述說明外，合併公司之預付租賃款於104年及103年1月1日至9月30日並未發生重大支付或收回情形。

昆山滬崴於102年9月10日與江蘇省昆山市國土資源局簽約取得位於昆山市花橋鎮橫潭二路南側土地使用權23,335平方米，總價款為人民幣7,840仟元。昆山滬崴已於103年2月支付尾款人民幣6,240仟元後，全數轉列預付租賃款。

合併公司設定質押作為借款擔保之預付租賃款金額，請參閱附註二八。

十七、借　款

(一)短期借款

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
無擔保借款			
信用額度借款	$ 408,711	$ 538,138	$ 449,719
擔保借款			
銀行借款	-	26,296	63,198
	$ 408,711	$ 564,434	$ 512,917

銀行週轉性借款之利率於104年9月30日暨103年12月31日及9月30日如下：

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
美　金	2.94%	1.40%-3.13%	1.43%-3.12%
人民幣	5.61%	-	-
台　幣	2.22%-2.78%	2.20%-2.88%	2.22%-2.8%
日　幣	1.08%-1.99%	1.42%-1.85%	1.42%-1.85%

(二) 應付短期票券

尚未到期之應付短期票券如下：

104 年 9 月 30 日

保證／承兌機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間	擔保品名稱	擔保品帳面金額
應付商業本票						
兆豐票券	$ 25,000	$ 7	$ 24,993	1.80%	-	$ -

103 年 12 月 31 日

保證／承兌機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間	擔保品名稱	擔保品帳面金額
應付商業本票						
兆豐票券	$ 25,000	$ 23	$ 24,977	1.80%	-	$ -

103 年 9 月 30 日

保證／承兌機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間	擔保品名稱	擔保品帳面金額
應付商業本票						
兆豐票券	$ 25,000	$ 60	$ 24,940	1.72%	-	$ -

(三) 長期借款

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
無擔保借款			
信用額度借款	$ -	$ 11,667	$ 14,167
減：列為一年內到期部分	-	(10,000)	(10,000)
	-	1,667	4,167
擔保借款			
銀行借款	276,000	276,000	-
減：列為一年內到期部分	(33,000)	-	-
	$ 243,000	$ 277,667	$ 4,167

本公司為營運週轉及償還已將到期之可轉換公司債，於 103 年度申請信用擔保借款 20,000 仟元及不動產擔保借款 276,000 仟元之額度，借款到期日分別為 105 年 2 月（已於 104 年 1 月提前清償完畢)及 108 年 11 月，截至 104 年 9 月 30 日止，有效年利率皆為 2.5%。

十八、應付公司債

	103年9月30日
有擔保轉換公司債	
國內第二次有擔保轉換公司債	$ 320,162
減：列為1年內到期部分	320,162
	$ -

本公司於100年10月24日發行票面利率為零之3年期第二次有擔保轉換公司債350,000仟元，其有效利率為2.60%，係由臺灣新光商業銀行擔任保證人，本公司依國際財務會計準則之規定將轉換權與負債分離，並分別認列為權益及負債。發行條件如下：

(一) 債權人得於公司債到期時請求本公司以現金一次還本。

(二) 若符合約定條件時，本公司得於公司債發行滿1個月之翌日至債券到期前40日止，按債券面額以現金向債權人要求贖回公司債。

(三) 債權人於公司債發行之日起滿1個月之翌日，至到期日前10日止，除依法暫停過戶期間等外，得隨時向本公司請求依當時之轉換價格轉換為本公司普通股股票。依本公司債之發行及轉換辦法規定，原始轉換價格為10.50元，惟若因無償配股或配發普通股現金股利占每股時價之比率超過1.5%時，應依轉換價格計算公式調整。

此可轉換公司債包括負債及權益組成部分，權益組成部分於權益項下以資本公積－認股權表達。

發行價款	$ 345,000
發行日負債組成部分（減除分攤至負債之交易成本4,697仟元）	(324,063)
權益組成部分（減除分攤至權益之交易成本303仟元）	$ 20,937

上述可轉換公司債除面額29,600仟元已轉換為本公司普通股2,819仟股外，餘皆已於103年10月24日到期，並已於11月6日全數還本。

十九、退職後福利計畫

(一) 確定提撥計畫

本公司所適用「勞工退休金條例」之退休金制度，係屬政府管理之確定提撥退休計畫，依員工每月薪資 6%提撥退休金至勞工保險局之個人專戶。本公司於 104 年及 103 年 7 月 1 日至 9 月 30 日以及 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日依照確定提撥計畫中明定比例應提撥之金額已於合併綜合損益表認列費用總額分別為 820 仟元、730 仟元、2,549 仟元及 2,580 仟元。

(二) 確定福利計畫

104 年及 103 年 7 月 1 日至 9 月 30 日以及 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日認列之確定福利計畫相關退休金費用，係以 103 年及 102 年 12 月 31 日精算決定之退休金成本率在各期間分別認列於下列項目：

	104年7月1日 至9月30日	103年7月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日
營業費用－管理費用	$ 260	$ 202	$ 780	$ 604

二十、權　　益

(一) 普通股股本

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
額定股本	$ 2,000,000	$ 2,000,000	$ 2,000,000
額定股數（仟股）	$ 200,000	$ 200,000	$ 200,000
已發行股本	$ 1,618,959	$ 1,618,959	$ 1,618,959
已發行股數（仟股）	$ 161,896	$ 161,896	$ 161,896

已發行之普通股每股面額為 10 元，每股享有一表決權及收取股利之權利。

(二) 資本公積

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
得用以彌補虧損、發放現金或撥充股本（註）			
股票發行溢價	$ 1,399	$ 1,399	$ 1,399
不得作為任何用途			
可轉換公司債之認股權	19,166	19,166	19,166
	$ 20,565	$ 20,565	$ 20,565

註：此類資本公積得用以彌補虧損，亦得於公司無虧損時，用以發放現金或撥充股本，惟撥充股本時每年以實收股本之一定比率為限。

(三) 保留盈餘及股利政策

依本公司章程規定，每年決算後所得純益，除依法完納一切稅捐外，應先彌補已往年度虧損，次就其餘額提存 10%為法定盈餘公積金，如尚有盈餘，由董事會擬定分配案，提請股東會通過後分配之，其中提撥員工紅利 1%到 10%，董事監察人酬勞不得高於 1%。

依 104 年 5 月公司法之修正，股息及紅利之分派限於股東，員工非屬盈餘分派之對象。本公司預計於 105 年度之股東常會配合上述法規修正公司章程。員工及董監事酬勞於 104 年及 103 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之估列基礎及 103 及 102 年度之實際配發情形，參閱附註二一。

由於本公司業務正值成長期，分配股利之政策，需視公司目前及未來之投資環境、資金需求、國內外競爭狀況及資本預算等因素，兼顧股東權益、平衡股利及公司長期財務規劃等，每年依法由董事會擬具分配案，提報股東會。當年度股東股利之發放，現金股利之分派比例不低於分派股利總額之 10%。

本公司依金管證發字第 1010012865 號函、金管證發字第 1010047490 號函及「採用國際財務報導準則（IFRSs）後，提列特別盈餘公積之適用疑義問答」規定提列及迴轉特別盈餘公積。嗣後其他股東權益減項餘額有迴轉時，得就迴轉部分分派盈餘。此外，本公司依金管證發字第 1030006415 號規定提列及迴轉特別盈餘公積。

法定盈餘公積應提撥至其餘額達公司實收股本總額時為止。法定盈餘公積得用以彌補虧損。公司無虧損時，法定盈餘公積超過實收股本總額 25%之部分除得撥充股本外，尚得以現金分配。

分配未分配盈餘時，除屬非中華民國境內居住者之股東外，其餘股東可獲配按股利分配日之稅額扣抵比率計算之股東可扣抵稅額。

本公司分別於 104 年 6 月 17 日及 103 年 6 月 27 日舉行股東常會，決議通過 103 及 102 年度盈虧撥補案，因 103 及 102 年底係待彌補虧損，故不予分派股利。

(四) 特別盈餘公積

本公司於首次採用 IFRSs 時，帳列累積換算調整數轉入保留盈餘之金額為 158,644 仟元，已予以提列相同數額之特別盈餘公積。

(五) 其他權益項目

1. 國外營運機構財務報表換算之兌換差額

	104年1月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日
期初餘額	$ 82,922	$ 18,530
國外營運機構財務報表換算之兌換差額	(1,736)	15,256
國外營運機構財務報表換算兌換差額之相關所得稅	295	(2,593)
期末餘額	$ 81,481	$ 31,193

2. 備供出售金融資產未實現損益

	104年1月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日
期初餘額	$ 19,407	($ 8,001)
備供出售金融資產未實現利益	26,863	45,356
處分備供出售金融資產權益重分類至損益	(2,309)	-
期末餘額	$ 43,961	$ 37,355

二一、繼續營業單位淨利

繼續營業單位淨利係包含以下項目：

(一) 其他收入

	104年7月1日 至9月30日	103年7月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日
租金收入	$ -	$ 446	$ 131	$ 1,258
利息收入	235	38	360	181
股利收入	-	1,396	1,490	3,395
	$ 235	$ 1,880	$ 1,981	$ 4,834

(二) 其他利益及損失

	104年7月1日 至9月30日	103年7月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日
透過損益按公允價值衡量之金融資產淨利益(損失)	($ 7,496)	($ 407)	$ 3,590	$ 6,233
處分備供出售金融資產利益	1,921	-	2,309	-
處分以成本衡量之金融資產利益	-	-	1,931	-
處分不動產、廠房及設備損益	(5)	(126)	(682)	600
淨外幣兌換損益	5,734	5,604	1,673	3,904
其　他	303	(1,402)	(280)	(4,173)
	$ 457	$ 3,669	$ 8,541	$ 6,564

透過損益按公允價值衡量之金融資產淨損益包括公允價值變動之利益（損失）於104年及103年7月1日至9月30日與104年及103年1月1日至9月30日分別為(1,826)仟元、(5,413)仟元、5,770仟元及(2,118)仟元。

淨外幣兌換損益包括匯率變動之未實現外幣兌換利益（損失）於104年及103年7月1日至9月30日與104年及103年1月1日至9月30日分別為(2,669)仟元、2,939仟元、(9,745)仟元及1,390仟元。

(三) 財務成本

	104年7月1日 至9月30日	103年7月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日
銀行借款利息	$ 4,470	$ 3,330	$ 14,311	$ 9,336
可轉換公司債利息	-	2,072	-	6,176
	$ 4,470	$ 5,402	$ 14,311	$ 15,512

(四) 用人及折舊費用

	104年7月1日至9月30日			103年7月1日至9月30日		
	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
用人費用						
薪資費用	$ 21,489	$ 4,410	$ 25,899	$ 22,723	$ 4,704	$ 27,427
員工保險費用	2,395	405	2,800	2,380	322	2,702
退休金費用	589	491	1,080	655	276	931
其他用人費用	3,982	717	4,699	5,817	435	6,252
折舊費用	25,220	1,159	26,379	35,160	830	35,990
攤銷費用	1,674	511	2,185	2,750	555	3,305

	104年1月1日至9月30日			103年1月1日至9月30日		
	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
用人費用						
薪資費用	$ 64,279	$ 14,520	$ 78,799	$ 70,831	$ 15,324	$ 86,155
員工保險費用	7,493	1,185	8,678	7,973	1,010	8,983
退休金費用	1,899	1,430	3,329	2,063	1,121	3,184
其他用人費用	14,329	1,886	16,215	18,120	1,174	19,294
折舊費用	86,645	2,745	89,390	108,796	2,731	111,527
攤銷費用	5,032	1,485	6,517	8,502	1,702	10,204

104年及103年7月1日至9月30日與104年及103年1月1日至9月30日出租設備（帳列機器設備）及投資性不動產之折舊費用分別為0仟元、123仟元、122仟元及289仟元，帳列什項支出。

103年7月1日至9月30日與103年1月1日至9月30日遞延費用（帳列其他非流動資產）之攤銷分別為117仟元及481仟元，帳列什項支出。

公司法於104年5月修正，規範公司應於章程訂明以當年度獲利狀況之定額或比例分派員工酬勞，惟本公司尚未配合上述法規修正員工酬勞分派政策。本公司自97年起應付員工紅利及董監事酬勞之估列係依過去經驗以可能發放之金額為基礎，並按稅後淨利（已扣除員工分紅及董監事酬勞之金額）計算，其中提撥員工紅利1%到10%，董監事酬勞不高於1%。年度終了後，董事會決議之發放金額有重大變動時，該變動調整原提列年度費用，至股東會決議日時，若金額仍有變動，則依會計估計變動處理，於股東會決議年度調整入帳。如股東會決議採股票發放員工紅利，股票紅利股數以決議分紅之金額除以股票公平價值決定，股票公平價值係以股東會決議日前一日之收盤價，並考量除權除息之影響為計算基礎。本公司截至104年9月底止，因係待彌補虧損，故未予估列。

有關本公司股東會決議之員工紅利及董監事酬勞資訊，請至臺灣證券交易所之「公開資訊觀測站」查詢。

二二、繼續營業單位所得稅

(一) 認列於損益之所得稅

所得稅費用（利益）之主要組成項目如下：

	104年7月1日 至9月30日	103年7月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日
當期所得稅				
本期產生者	($ 298)	$ 600	$ 67	$ 941
以前年度之調整	-	-	8	-
	(298)	600	75	941
遞延所得稅				
本期產生者	237	754	816	2,889
認列於損益之所得稅費用（利益）	($ 61)	$ 1,354	$ 891	$ 3,830

(二) 認列於其他綜合損益之所得稅

	104年7月1日 至9月30日	103年7月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日
遞延所得稅				
本期產生者				
國外營運機構財務報表換算之兌換差額	($ 5,565)	($ 4,206)	$ 295	($ 2,593)

(三) 本公司及子公司稅率相關資訊如下：

	104年1月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日
本公司	17%	17%
慧朋科技	17%	-
昆山滬崴	25%	25%
昆山威興	25%	25%
昆山鐳崴	25%	-

(四) 兩稅合一相關資訊

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
可扣抵稅額	$ 11,301	$ 10,449	$ 9,994

本公司截至104年9月30日止為待彌補虧損，故無盈餘可供分配，因是股東可扣抵稅額帳戶餘額將留待以後盈餘分配時配予股東。

(五) 所得稅核定情形

本公司截至102年度之所得稅申報案件業經稽徵機關核定。

二三、每股盈餘（虧損）

	104年7月1日至9月30日	103年7月1日至9月30日	104年1月1日至9月30日	103年1月1日至9月30日
基本每股盈餘（虧損）	($ 0.03)	$ 0.04	$ -	$ 0.07

用以計算每股盈餘（虧損）之盈餘（虧損）及普通股加權平均股數如下：

	本期盈餘（虧損）（分子）	股數（分母）（仟股）	每股盈餘（虧損）（元）
104年7月1日至9月30日			
歸屬於本公司業主之虧損	($ 4,431)	161,896	($ 0.03)
103年7月1日至9月30日			
歸屬於本公司業主之盈餘	$ 6,037	161,896	$ 0.04
104年1月1日至9月30日			
歸屬於本公司業主之虧損	$ 565	161,896	$ -
103年1月1日至9月30日			
歸屬於本公司業主之盈餘	$ 12,075	161,896	$ 0.07

計算每股盈餘時，轉換公司債之影響已列入考量，惟該轉換公司債並無稀釋效果，故基本每股盈餘及稀釋每股盈餘皆相同。

二四、營業租賃協議

(一) 合併公司為承租人

營業租賃係承租小客車及員工宿舍，租期至 107 年 3 月前陸續到期。

截至 104 年 9 月 30 日暨 103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，合併公司因營業租賃合約所支付之存出保證金（帳列存出保證金）分別為 1,411 仟元、1,331 仟元及 1,330 仟元。

不可取消營業租賃之未來最低租賃給付如下：

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
1 年內	$ 1,296	$ 808	$ 929
超過 1 年但不超過 5 年	1,163	1,313	1,542
	$ 2,459	$ 2,121	$ 2,471

(二) 合併公司為出租人

營業租賃係出租合併公司所擁有之投資性不動產－土地及房屋，已於 103 年 10 月提前解約。

截至 103 年 9 月 30 日止，本公司因營業租賃合約所收取之保證金（帳列其他流動負債）為 378 仟元。

不可取消之營業租賃之未來最低租賃給付如下：

	103年9月30日
1 年 內	$ 569
超過 1 年但未超過 5 年	-
	$ 569

二五、資本風險管理

合併公司進行資本管理以確保集團內各企業能夠於繼續經營之前提下，藉由將債務及權益餘額最適化，以使股東報酬極大化。合併公司資本結構係由合併公司之歸屬於本公司業主之權益（即股本、資本公積、保留盈餘及其他權益項目）組成。

合併公司主要管理階層每季重新檢視集團資本結構，其檢視內容包括考量各類資本之成本及相關風險。合併公司依據主要管理階層之建議，將藉由支付股利、發行新股、買回股份及發行新債或償付舊債等方式平衡其整體資本結構。

二六、金融工具

(一) 公允價值之資訊－非按公允價值衡量之金融工具

除下表所列外，合併公司管理階層認為非按公允價值衡量之金融資產及金融負債之帳面金額趨近其公允價值或其公允價值無法可靠衡量：

	103年9月30日	
	帳面金額	公允價值
金融負債		
以攤銷後成本衡量之金融負債		
應付公司債	$ 320,162	$ 320,720

上櫃公司債因有市場價格可循，故以此市場價格為公允價值。

(二) 公允價值之資訊－按公允價值衡量之金融工具

1. 公允價值層級

104 年 9 月 30 日

	第一級	第二級	第三級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
持有供交易之非衍生性金融資產	$ 9,216	$ -	$ -	$ 9,216
備供出售金融資產				
國內上櫃有價證券	183,829	-	-	183,829
	$ 193,045	$ -	$ -	$ 193,045
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
衍生工具	$ -	$ 946	$ -	$ 946

103 年 12 月 31 日

	第一級	第二級	第三級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
持有供交易之非衍生性金融資產	$ 54,365	$ -	$ -	$ 54,365
備供出售金融資產				
國內興櫃有價證券	126,566	-	-	126,566
	$ 180,931	$ -	$ -	$ 180,931
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
衍生工具	$ -	$ 1,573	$ -	$ 1,573

103 年 9 月 30 日

	第一級	第二級	第三級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
持有供交易之非衍生性金融資產	$ 57,769	$ -	$ -	$ 57,769
備供出售金融資產				
國內興櫃有價證券	137,818	-	-	137,818
	$ 195,587	$ -	$ -	$ 195,587
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
衍生工具	$ -	$ 557	$ -	$ 557

104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日無第 1 等級與第 2 等級公允價值衡量間移轉之情形。

2. 第 2 等級公允價值衡量之評價技術及輸入值

金融工具類別	評價技術及輸入值
衍生工具—遠期外匯合約	現金流量折現法：按期末之可觀察遠期匯率及合約所訂匯率估計未來現金流量，並以可反映各交易對方信用風險之折現率分別折現。

(三) 金融工具之種類

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
金融資產			
透過損益按公允價值衡量	$ 9,216	$ 54,365	$ 57,769
放款及應收款（註1）	707,388	876,054	759,107
備供出售金融資產（註2）	253,626	212,632	271,227
	$ 970,230	$ 1,143,051	$ 1,088,103
金融負債			
透過損益按公允價值衡量	$ 946	$ 1,573	$ 557
以攤銷後成本衡量（註3）	977,815	1,098,640	1,091,420
	$ 978,761	$ 1,100,213	$ 1,091,977

註 1： 餘額係包含現金及銀行存款、應收票據、應收帳款、其他應收款、其他流動資產、存出保證金等以攤銷後成本衡量之放款及應收款。

註 2： 餘額係包含備供出售金融資產及以成本衡量之金融資產。

註 3： 餘額係包含短期借款、應付短期票券、應付票據、應付帳款、部分其他應付款、部分其他流動負債、應付公司債及長期借款等以攤銷後成本衡量之金融負債。

(四) 財務風險管理目的與政策

合併公司財務風險管理目標，係為管理與營運活動相關之匯率風險、信用風險及流動風險。為降低相關財務風險，合併公司致力於辨認、評估並規避市場之不確定性，以降低市場變動對公司財務績效之潛在不利影響。

合併公司之重要財務活動，係經董事會依相關規範及內部控制制度進行覆核。於財務計劃執行期間，合併公司必須恪遵關於整體財務風險管理及權責劃分之相關財務操作程序。

1. 市場風險

合併公司之營運活動使合併公司承擔之主要財務風險為外幣匯率變動風險。

(1) 匯率風險

合併公司於資產負債表日非功能性貨幣計價之貨幣性資產與貨幣性負債帳面金額（包括合併財務報表中已沖銷之非功能性貨幣計價之貨幣性項目），參閱附註二九。

合併公司主要受到美金及日幣匯率波動之影響，因外幣交易而產生重大之資產及負債金額，雖外幣資產及負債因市場匯率變動而產生之損益有互抵效果，惟合併公司外幣資產金額與外幣負債金額顯有差異，因此承受外匯風險。合併公司因美金及日幣對新台幣匯率升值 3%時，於 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅前淨利將分別(減少)增加(1,044)仟元及 1,216 仟元。

(2) 利率風險

利率風險係因市場之變動而導致金融工具之公允價值或未來現金流量波動之風險。

合併公司於資產負債表日受利率暴險之金融負債帳面金額如下：

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
具公允價值利率風險			
一金融負債	$ -	$ -	$ 320,162
具現金流量利率風險			
一金融負債	709,704	877,078	552,024

下列敏感度分析係計算浮動利率負債於資產負債表日之利率暴險，其分析方式係假設資產負債表日流通在外之負債金額於整年度皆流通在外。

若利率增加 1%時，在所有其他變數維持不變之情況下，合併公司 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅前淨利將分別減少 5,323 仟元及 4,140 仟元。

(3) 權益證券價格風險

權益證券之市場風險包含個別權益證券市場價格變動所產生之個別風險，及因整體市場價格變動所產生的一般市場風險。合併公司因權益價格上漲 1%時，104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅前淨利將因透過損益按公允價值衡量之金融資產公允價值之變動分別增加 92 仟元及 578 仟元；104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之其他綜合損益將因備供出售金融資產公允價值之變動分別增加 1,838 仟元及 1,378 仟元。

2. 信用風險

信用風險係指交易對方拖欠合約義務而造成集團財務損失之風險。截至資產負債表日，合併公司可能因交易對方未履行義務及合併公司提供財務保證造成財務損失之最大信用風險暴險主要係來自於合併資產負債表所認列之金融資產帳面金額。

合併公司採行之政策係僅與信譽卓著之對象進行交易，並於必要情形下取得足額之擔保以減輕因拖欠所產生財務損失之風險。

為減輕信用風險，合併公司於資產負債表日會逐一複核應收款項之可回收金額以確保無法回收之應收款項已提列適當減損損失。據此，本公司管理階層認為合併公司之信用風險已顯著減少。

另因流動資金及衍生金融工具之交易對方係國際信用評等機構給予高信用評等之銀行，故該信用風險係屬有限。

應收帳款之對象涵蓋眾多客戶，分散於不同地理區域。合併公司持續地針對應收帳款客戶之財務狀況、信評機構評等、合併公司內部信用評等、歷史交易紀錄等多項可能影響客戶付

款能力之因素進行評估。合併公司亦會使用以預收貨款方式銷貨等措施，以降低特定客戶的信用風險。

截至 104 年 9 月 30 日暨 103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日，前十大客戶之應收帳款餘額占合併公司應收帳款餘額之百分比分別為 37%、41%及 46%，其餘應收帳款之信用集中風險相對並不重大。

3. 流動性風險

合併公司係透過管理及維持足夠部位之現金及約當現金以支應集團營運並減輕現金流量波動之影響。合併公司管理階層監督銀行融資額度使用狀況並確保借款合約條款之遵循。

銀行借款對合併公司而言係為一項重要流動性來源。截至 104 年 9 月 30 日暨 103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，合併公司未動用之短期銀行融資額度分別為 663,803 仟元、516,796 仟元及 385,290 仟元。

流動性及利率風險表

下表詳細說明合併公司已約定還款期間之非衍生金融負債剩餘合約到期分析，其係依據合併公司最早可能被要求還款之日期，並以金融負債未折現現金流量編製，其包括利息及本金之現金流量。

合併公司之非衍生金融負債到期分析係依照約定之還款日編製。

104 年 9 月 30 日

	1 年 以 下	1 至 5 年	合 計
非衍生金融負債			
短期借款	$ 408,711	$ -	$ 408,711
短期票券	24,993	-	24,993
應付票據及帳款	138,067	-	138,067
其他應付款	138,632	-	138,632
長期借款	33,000	243,000	276,000

103 年 12 月 31 日

	1 年 以 下	1 至 5 年	合 計
非衍生金融負債			
短期借款	$ 564,434	$ -	$ 564,434
短期票券	24,977	-	24,977
應付票據及帳款	181,119	-	181,119
其他應付款	50,787	-	50,787
長期借款	10,000	277,667	287,667

103 年 9 月 30 日

	1 年 以 下	1 至 5 年	合 計
非衍生金融負債			
短期借款	$ 512,917	$ -	$ 512,917
短期票券	24,940	-	24,940
應付票據及帳款	173,382	-	173,382
其他應付款	52,925	-	52,925
應付公司債	320,720	-	320,720
長期借款	10,000	4,167	14,167

二七、關係人交易

(一) 背書保證

截至 104 年 9 月 30 日暨 103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，本公司為關係人背書保證情形如下：

	104年9月30日		103年12月31日		103年9月30日	
關係人類別	總 額 度	動用額度	總 額 度	動用額度	總 額 度	動用額度
子公司	$ 177,498	$ 10,538	$ 151,920	$ 33,845	$ 115,596	$ 26,891

截至 104 年 9 月 30 日暨 103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，昆山威興為昆山滬崴背書保證情形：

	104年9月30日		103年12月31日		103年9月30日	
關係人類別	總 額 度	動用額度	總 額 度	動用額度	總 額 度	動用額度
兄弟公司	$ -	$ -	$ 16,300	$ 16,300	$ 39,753	$ 39,753

(二) 對主要管理階層薪酬資訊：

	104年7月1日 至9月30日	103年7月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日	103年1月1日 至9月30日
短期員工福利	$ 1,424	$ 1,017	$ 3,931	$ 3,048
退職後福利	45	31	134	91
	$ 1,469	$ 1,048	$ 4,065	$ 3,139

二八、質、抵押之資產

下列資產係提供作為合併公司銀行借款及履約保證之擔保品：

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
土　　地	$ 113,167	$ 113,167	$ 110,858
房屋及建築	140,739	384,570	426,031
預付租賃款－土地使用權	-	31,880	30,665
透過損益按公允價值衡量之金融資產	-	19,720	-
投資性不動產	-	-	16,805

二九、具重大影響之外幣金融資產及負債資訊

以下資訊係按合併公司各個體功能性貨幣以外之外幣彙總表達，所揭露之匯率係指該等外幣換算至功能性貨幣之匯率。具重大影響之外幣資產及負債如下：

單位：各外幣／新台幣仟元

	104年9月30日			103年12月31日			103年9月30日		
	外幣	匯率	新台幣	外幣	匯率	新台幣	外幣	匯率	新台幣
金融資產									
貨幣性項目									
美金	$ 6,218	32.870	$ 204,396	$ 10,633	31.650	$ 336,536	$ 8,443	30.420	$ 256,849
日幣	203,938	0.274	55,858	51,944	0.263	13,667	7,615	0.278	2,117
人民幣	3,193	5.167	16,499	3,000	5.172	15,517	3,469	4.944	17,148
金融負債									
貨幣性項目									
美金	3,728	32.870	122,550	6,461	31.650	210,179	5,804	30.420	176,558
日幣	629,857	0.274	172,518	168,958	0.263	44,564	150,661	0.278	41,884

合併公司於 104 年及 103 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日外幣兌換損益（已實現及未實現）請參閱附註二一，由於外幣交易繁多，故無法按各重大影響之外幣別揭露兌換損益。

三十、其　　他

昆山滬崴及昆山威興於 100 年 9 月 5 日接獲當地主管機關花橋經濟開發區規劃建設局來函通知，因上海市軌道交通 11 號線北段工程即將開工建設，昆山滬崴及昆山威興用地約 35 畝之廠址被列入動遷範圍，預計將動遷至花橋工業區內。動遷草約已於 104 年 3 月 20 日經昆山市花橋經濟開發區轉交昆山滬崴及昆山威興，草約內容主要係針對

昆山滬崴及昆山威興使用中之地上物，包括建築物、機器設備、附屬設施及動遷過程中所產生的一切費用。擬爭取協議條件如下：

(一) 補償金額總計人民幣 151,906 仟元；

(二) 規劃建設局應於動遷協議簽訂後支付滬崴 30% 補償款，並於新工廠動工及主體封頂後分別各支付 20%補償款，最後於滬崴全部動遷完成移交後支付剩餘之 30%補償款。

另昆山滬崴及昆山威興使用中之土地使用權，並不包含於本次動遷草約中，昆山滬崴及昆山威興將依據 101 年 8 月 16 日與昆山市花橋經濟開發區規劃建設局所簽訂動遷框架協議書之精神，並按相關法令規定繼續與花橋經濟開發區規劃建設局協商，爭取取得變性後之地塊使用權。

三一、附註揭露事項

(一) 重大交易事項及(二)轉投資事業相關資訊

1. 資金貸與他人：附表一。
2. 為他人背書保證：附表二。
3. 期末持有有價證券情形：附表三。
4. 累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣 3 億元或實收資本額 20%以上：無。
5. 取得不動產之金額達新台幣 3 億元或實收資本額 20%以上：無。
6. 處分不動產之金額達新台幣 3 億元或實收資本額 20%以上：無。
7. 與關係人進、銷貨之金額達新台幣 1 億元或實收資本額 20%以上：無。
8. 應收關係人款項達新台幣 1 億元或實收資本額 20%以上：無。
9. 從事衍生工具交易：附註七及二六。
10. 被投資公司名稱、所在地區....等相關資訊：附表四。

(三) 大陸投資資訊：附表五。

(四) 母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額：附表六。

三二、營運部門財務資訊

(一) 部門別財務資訊

合併公司提供給主要營運決策者用以分配資源及評量部門績效之資訊，著重於每一交付或提供之產品或勞務之種類。依國際財務報導準則第8號「營運部門」之規定，合併公司應報導部門如下：

1. 鑽頭事業部門：主要係設計及製造電鍍液、乾膜、鑽頭等印刷電路板原材料與加工業務等。
2. 貿易事業部門：自101年度起，合併公司新增商品經銷之業務。

合併公司104年及103年1月1日至9月30日有關營運部門財務資訊列示如下：

	104年1月1日至9月30日			
項目	鑽頭	貿易	其他	調整後金額
部門收入				
對外收入	$ 574,145	$ 60,509	$ 39,280	$ 673,934
部門損益	$ 5,450	$ 1,649	($ 585)	$ 6,514
營業外收入及支出				(5,058)
稅前淨利				$ 1,456
部門資產	$2,720,753	$ 38,796	$ 133,667	$2,893,216

	103年1月1日至9月30日			
項目	鑽頭	貿易	其他	調整後金額
部門收入				
對外收入	$ 651,942	$ 287,358	$ 45,989	$ 985,289
部門損益	$ 14,268	$ 6,204	$ 1,006	$ 21,478
營業外收入及支出				(5,573)
稅前淨利				$ 15,905
部門資產	$2,803,389	$ 133,885	$ -	$2,937,274

部門利益係指各個部門所賺取之利潤，不包含權益法認列之投資損益、利息收入、處分固定資產損益、處分投資損益、兌換損益、金融商品評價損益、利息費用以及所得稅費用。此衡量金額係提供予主要營運決策者，用以分配資源予部門及評量其績效。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

資金貸與他人

民國 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表一

單位：新台幣／人民幣仟元

編號	貸出資金之公司	貸與對象	往來項目	是否為關係人	本期最高餘額	期末餘額	實際動支金額	利率區間 %	資金貸與性質	業務往來金額	有短期融通資金必要之原因	提列備抵呆帳金額	擔保品 名稱	擔保品 價值	對個別對象資金貸與限額（註一）	資金貸與最高限額（註一）
1	本公司	昆山滬崴電子有限公司等五家（註二）	其他應收款－關係人	是	$ 100,000	$ 100,000	$ 54,946 (RMB 3,000) (USD 1,200)	1.50%	資金融通	$ 83,568	轉投資公司營運週轉	$ -	—	$ -	$ 185,483	$ 741,932

註一：依本公司「資金貸與他人作業辦法」規定貸與他人資金之總額以不超過本公司最近期經會計師查核簽證或核閱之財務報表淨值之百分之四十為限。有資金融通之必要者，個別貸與金額，不得超過貸出資金之公司淨值之百分之十。

註二：104 年 5 月 7 日董事會通過之本公司資金貸與 100%轉投資公司一案。本公司擬資金貸與 100%轉投資公司（含 KEY WARE INTERNATIONAL LIMITED、ADVISOR MOVE INVESTMENTS LIMITED、MODULE SYSTEM INTERNATION LIMITED、昆山滬崴電子有限公司及昆山威興電子有限公司）短期融通，資金貸與總額以新台幣壹億元整（或等值外幣）為限，並授權董事長於董事會決議後一年內分次撥貸或循環動用。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

為他人背書保證

民國 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表二

單位：新台幣／日幣／美金／人民幣仟元

編號	背書保證者公司名稱	被背書保證對象		對單一企業背書保證限額（註一及二）	本期最高背書保證餘額	期末背書保證餘額	實際動支金額	以財產擔保之背書保證金額	累計背書保證金額佔最近期財務報告淨值之比率	背書保證最高限額（註一及二）	屬母公司對子公司背書保證	屬子公司對母公司背書保證	屬對大陸地區背書保證
		公司名稱	關係										
0	本公司	ADVISOR	採權益法評價之被投資公司（子公司）	$ 370,966	$ 177,498 (USD 5,400)	$ 177,498 (USD 5,400)	$ 10,538 (JPY 38,480)	$ -	9.57%	$ 1,112,898	Y	N	N
1	昆山威興電子有限公司	昆山滬崴電子有限公司	同受凱崴電子控制之被投資公司（曾孫公司）	537,191 (RMB 103,962)	131,763 (RMB 25,500)	-	-	-	-	537,191 (RMB 103,962)	N	N	Y

註一：依本公司背書保證作業程序辦法，累計對外背書保證總額以不超過本公司最近期經會計師查核簽證或核閱之財務報告淨值之百分之六十為限，對單一企業背書保證金額不得超過前述淨值百分之二十。

註二：依昆山威興背書保證作業程序辦法，與本公司編製合併財務報表之各母子公司間的背書保證以不超過昆山威興最近期經會計師查核簽證或核閱之財務報表淨值之百分之百為限。

註三：上述涉及人民幣之資產負債金額依中國人民銀行 9 月底美金與人民幣匯率 1：6.3613 換算美金，再以台灣銀行 9 月底美金與新台幣匯率 1：32.87 換算新台幣。

註四：上述涉及日幣之資產負債金額依中國人民銀行 9 月底日幣與人民幣匯率 1：0.0530 換算人民幣，再以中國人民銀行 9 月底美金與人民幣匯率 1：6.3613 換算美金，最後以台灣銀行 9 月底美金與新台幣匯率 1：32.87 換算新台幣。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

期末持有有價證券情形

民國 104 年 9 月 30 日

附表三

單位：新台幣／人民幣仟元

持有之公司	有價證券及名稱	與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末 股數（仟股）	期末 帳面金額	期末 持股比率（%）	期末 市價／股權淨值	備註
本公司	股票及受益憑證							
	兆豐國際目標策略 ETF 基金	—	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	160	$ 1,569	-	$ 1,569	註三
	Aduro Biotech Inc.	—	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	3	1,430	-	1,430	註三
	Juno Therapeutics Inc.	—	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	5	6,217	0.01	6,217	註三
	展旺生命科技股份有限公司	—	備供出售金融資產	5,009	183,829	2.39	183,829	註三
	漢宇創業投資股份有限公司	—	以成本衡量之金融資產－非流動	2,000	15,923	4.44	22,145	註一
	Ultimate Access Group Limited	—	以成本衡量之金融資產－非流動	1,000	31,074	-	31,072	註二及四
	Concord Venture Capital Group Limited	—	以成本衡量之金融資產－非流動	772	22,800	13.57	25,356	註四

註一：係以該公司 103 年度經會計師查核之財務報告計算。

註二：未發行股票。

註三：透過損益按公允價值衡量之金融資產及備供出售金融資產中屬上市及上櫃公司股票者，市價係依照 104 年 9 月 30 日之收盤價計算。

註四：係以該公司 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日未經會計師核閱之財務報告計算。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

被投資公司名稱、所在地區...等相關資訊

民國 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表四

單位：新台幣／美金／人民幣仟元

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額 本期期末	原始投資金額 上期期末	期末持有 股數（仟股）	期末持有 比率(%)	期末持有 帳面金額	被投資公司本期利益（損失）	本期認列之投資利益（損失）	備註
凱崴電子股份有限公司	Key Ware International Limited	Trustnet Chambers, P.O. Box 3444, Road Town, Tortola, B.V.I.	一般投資	USD 23,717	USD 23,717	23,717	100.00	$ 1,411,849	($ 13,148) (RMB 2,602)	($ 13,148) (RMB 2,602)	註一
	慧朋科技股份有限公司	台灣省台北市大安區敦化南路二段 76 號 4 樓	電子零件、機械設備	1,000	1,000	100	99.99	969	(31)	(31)	註二
	榮沛科技股份有限公司	台灣省台北市大安區敦化南路二段 76 號 4 樓	一般投資	8,333	8,333	833	22.73	5,458	(5,583)	(1,269)	註二
Key Ware International Limited	Advisor Move Investments Limited	Trustnet Chambers, P.O. Box 3444, Road Town, Tortola, B.V.I.	一般投資	USD 9,960	USD 9,960	9,960	100.00	RMB 167,137	(RMB 2,597)	(RMB 2,597)	註一
	Module System International Limited	Scotia Centre, 4th Floor, P.O. Box 2804, George Town, Grand Cayman, Cayman Islands	一般投資	USD 12,932	USD 12,932	12,932	100.00	RMB 105,883	(RMB 11)	(RMB 11)	註一

註一：係以該公司 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日經會計師核閱之財務報告計算。

註二：係以該公司 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日未經會計師核閱之財務報告計算。

註三：大陸被投資公司相關資訊請參閱附表五。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

大陸投資資訊

民國 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表五

單位：新台幣／美金／人民幣仟元

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額		本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期損益	本公司直接或間接投資之持股比例	本期認列投資（損）益（註一）	期末投資帳面價值	截至本期止已匯回投資收益
					匯出	收回						
昆山滬崴電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	$ 361,570 USD 11,000	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司	$ 361,570 USD 11,000	$ -	$ -	$ 361,570 USD 11,000	($ 13,028) (RMB 2,558)	100%	($ 12,687) (RMB 2,491)	$ 853,660 RMB 165,208	$ -
昆山威興電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	432,799 USD 13,167	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司	432,799 USD 13,167	-	-	432,799 USD 13,167	-	100%	-	537,191 RMB 103,962	-
昆山鐳崴光電科技有限公司（註二）	鐳射鑽孔代工	6,201 RMB 1,200	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司	-	-	-	-	(168) (RMB 33)	100%	(168) (RMB 33)	6,030 RMB 1,167	-

本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額
$794,369（USD24,167）	$796,341（USD24,227）	$1,112,898（註四）

註一：係依被投資公司 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日經會計師核閱之財務報告認列。

註二：係昆山滬崴電子有限公司於 104 年 8 月及 9 月以人民幣 1,200 仟元投資設立。

註三：上述涉及美金之資產及損益金額分別依台灣銀行 9 月底及 1 至 9 月美金買進賣出平均匯率 1：32.87 及 1：31.444 換算新台幣。

註四：依據「在大陸地區從事投資或技術合作審查原則」規定，投資人對大陸投資累計金額不得超過淨值或合併淨值之 60%，其較高者。

註五：上述涉及人民幣之資產負債金額依中國人民銀行 9 月底美金與人民幣匯率 1：6.3613 換算美金，再以台灣銀行 9 月底美金與新台幣匯率 1：32.87 換算新台幣。

註六：上述涉及人民幣之損益金額依中國人民銀行 1 至 9 月美金與人民幣匯率 1：6.1738 換算美金，再以台灣銀行 1 至 9 月美金與新台幣匯率 1：31.444 換算新台幣。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

母子公司間業務關係及重要交易往來情形及金額

民國 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表六

單位：新台幣仟元

編號（註一）	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係（註二）	交易往來情形			
				科目	金額（註五）	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率（註六）
0	本公司	昆山滬崴	1	應收帳款	$ 28,951	註三	1.00
		昆山滬崴	1	其他應收款	101,816	—	3.52
		昆山滬崴	1	應付帳款	4,727	註四	0.16
		昆山滬崴	1	銷貨成本	38,979	註四	5.78
		昆山滬崴	1	銷貨收入	51,691	註三	7.67
		昆山滬崴	1	未實現銷貨毛利	1,311	—	0.19
1	ADVISOR	昆山滬崴	3	已實現銷貨毛利	1,744	—	0.26
		昆山滬崴	3	應收帳款	11,769	註三	0.41
		昆山滬崴	3	折舊費用	347	—	0.05
2	昆山滬崴	昆山鐳崴	3	其他應收款	6,018	—	0.21

註一：母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明，編號之填寫方法如下：

1.母公司填 0。

2.子公司依公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註二：與交易人之關係有以下三種，標示種類即可：

1.母公司對子公司。

2.子公司對母公司。

3.子公司對子公司。

註三：交易價格係以成本為基礎，並由雙方參考市場行情議價辦理，交易條件為月結 180 天。

註四：交易價格係以成本為基礎，並由雙方參考市場行情議價辦理，交易條件為月結 120 天。

註五：編製合併報表時，母子公司間交易業已沖銷。

註六：交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算，若屬資產負債科目者，以期末餘額佔合併總資產之方式計算；若屬損益科目者，以期中累積金額佔合併總營收之方式計算。